

第6回 日時 令和元年 10月26日(土)

市民公開講座に参加して

講師

- 乳がんについて 外科医長 前田 茂人
- 前立腺がんについて 泌尿器科医長 大仁田 亨
- 就労支援について ハローワーク長崎 福島 千鶴

国病久原会 会長 廣田典祥

このたび大村市にできた新しい本格的な県立長崎図書館(ミライ on 図書館)で当院の市民公開講座が開かれました。ワクワクするようなこの素晴らしい環境の中で、市民が足を運びやすい場所で開催されたことは大変喜ばしいことです。

開会に際し当院の江崎 宏典 院長さんから主催者としてのご挨拶がありました。当院のマスコット、ヘリドック太君と一緒にご登壇でしたのでとても和やかなオープニングでした。

最初に当院の外科医長の前田 茂人 先生から「乳がんについて」の講演がありました。穏やかな優しい語り口でお話しになるので、さすがに

乳がんで悩んでいるご婦人方を対象に診療をされている先生だなあという印象を受けました。患者さんを前にして丁寧な説明と同意を得てお仕事をされていると想像いたしました。

女性11人に1人が乳がんにかかるということから、大村市の女性人口から計算すると、一生涯で乳がんになる人が4530人にもなるという数字(こと)に驚きました。年齢の分布は若い人は19歳からだそうで、57歳を中心に多いと言うグラフを示されました。診断はマンモグラフィーとか超音波診断が必要とのこと。なかには乳房にシコリを触れない乳がんもあるとのこと。診断にはPETとかCT検査は万能ではありません、ということでした。

驚いたことに乳がんは1種類ではなくて4種類もあるそうです。

そういえばアメリカの有名な女優さんであるアンジェリーナ・ジョリーさんが乳がんの遺伝的な家族だから、乳がんにかかる以前に予防的に両側の乳房を切除する手術を受け、インプラントで胸の再建術まで受けたと言うニュースがありましたね。

このように乳がんに関する知識もどんどん深まっているようですし、きちんとした早期の診断と適切な手術によってどんどん治療成績が良くなっているということを知りました。

今後も前田先生を中心として当院の乳がんの治療がますます発展することを祈っております。

次の公演は「前立腺がんについて」です。講師は当院泌尿器科医長の大仁田 亨先生です。大きな声ではっきりした口調で講演をされたので大変親しみを覚えました。

私の年齢（ >80）になると友人の中にもかなりの者が前立腺がんの治療を受けている者が多い事を実感しております。皆それぞれ元気で暮らしております。5年生存率は98%で、治療成績が最も良い、がんの1つだということを知りました。

先生のご講演のポイントは、PSA 検査を受けるように、ということです。進行が遅いのもあるので PSA の値をフォローしながら様子を見るという話もありました。治療法も昔と比べれば、内視鏡の手術による方法だとか放射線治療の根治療法だとか技術の格段の進歩があるということです。

3つ目の演題として「就労支援について」ハローワーク長崎 福島千鶴さんからお話がありました(次ページの写真)。



当院ではすでに長崎医療センター患者サポート室で、治療中の がん患者さんや病気を克服された患者さん達・お家族の方の“語らん場”があります。それに加えてハローワークと病院が連携する仕組みで患者さんへの就労支援にまで取り組むと言う新しい支援体制が スタートしたということです。

このように相談支援とか就労支援とか様々な一連の支え方が進歩してきているのですね。がんにかかっても医療と社会が一体となって健康福祉が一層充実してきているということを実感しました。当院が地域がん診療拠点病院としての陣容がますます充実してきたと言えます。

各講師の皆様、ご講演ありがとうございました。

昔々の話。私は当院の精神科医長として乳がんの患者さんや、前立腺がんの患者さん(除睾術を受けた)で、要するにボディー・イメージのおおきな変化で心の病気になった患者さんを診療したことがありました。当時、患者さんが受けた心理的衝撃はすさまじいものがありました。病気からの再起を促す心理的な支援を行いました。がん、はもともと身体的な疾患。そればかりではありません。患者さんの中には心理社会的に苦悩を抱えている人がいます。医療技術の進歩とともに全人的な支援が必要であることは言うまでもありません。

講演を拝聴するたびに思うのですが、とかく医学的な知識は一般人にとって大変理解しがたい内容が多いのです。その知識に関して、医療人と一般市民とは著しい非対称関係にあることを、しっかり認識しておく必要があると思います。しかし、各講演者の努力によって親しみやすい分かりやすい講演となってきたように思います。市民にわかりやすいプレゼンテーション・スキルを身につけることは、これからの医療従事者にとって大切な課題であると思います。それは日常の診療にもおおいに役に立つ筈です。

今後も当院主催による市民公開講座の益々のご発展を期待しております。